

## 『地理情報標準認定資格制度』について

～2019年 技術者養成講習会及び認定試験のご案内～

公益財団法人 日本測量調査技術協会

1. 『地理情報標準認定資格』とは
2. 資格取得フロー
3. 認定試験受験資格及び講習会受講免除
4. 講習会カリキュラム及び認定試験の構成
5. 認定資格の登録
6. 講習会受講料・認定試験受験料、及び認定資格登録料
7. 認定資格の登録更新
8. 測量 CPD と設計 CPD
9. 詳細についての問い合わせ先
10. 参考図書・Web サイト

### 1. 『地理情報標準認定資格』とは

#### 【目的】

この資格制度は、地理情報標準の知識・技能を有した、地理空間情報の整備、管理、運用等の専門技術者の資格認定及び登録を行い、もって地理情報標準の適用、普及等の適正な推進を図るとともに、地理空間情報の利活用の促進に寄与することを目的とします。（地理情報標準認定資格制度規程から）

#### 【趣旨】

地理情報標準を広く活用して、地理空間情報に関する業務を適切に遂行でき、国際的にも通用する専門技術者を養成すると共に、地理情報標準の知識・技能が一定水準以上であることを認定する資格制度です。

平成 19（2007）年に地理空間情報活用推進基本法が成立し、測量法に基づく測量行為に地理情報標準の活用が推奨され、作業規程の準則においては、地理情報標準に準拠した製品仕様書の作成が義務付けられています。さらに、行政機関においては、これらデータを活用したソフトウェア開発も行われています。

地理情報標準は、地理空間情報の取得から管理、交換、応用までを網羅する知識の体系であり、地理空間情報高度活用社会を支える土台となります。さらに、国際標準に準拠したもので、これからの地球規模の地理空間情報の管理や利活用の推進にも不可欠な技術です。この技術のスキルレベルを各技術者が確認するとともに、地理空間情報に関わる計画機関、実施機関およびその関係者で共有し得る手段として、本制度を創設いたしました。

## 【行政機関（国土地理院）による認定】

本資格は、平成 26（2014）年 7 月 25 日付で国土交通省 国土地理院から 請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格として登録されました。

業務種別	区分	測量技術者資格
基準点測量、写真測量 地図調製、地理調査	A	地理情報標準認定資格 上級技術者
	B	地理情報標準認定資格 中級技術者
	C	地理情報標準認定資格 初級技術者

◎国土地理院の参照サイト：

- ・「測量業務の品質確保」

<http://www.gsi.go.jp/gijyutukanri/gijyutukanri40008.html>

- ・「請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格登録一覧」

<http://www.gsi.go.jp/common/000111347.pdf>

## 【制度の概要】

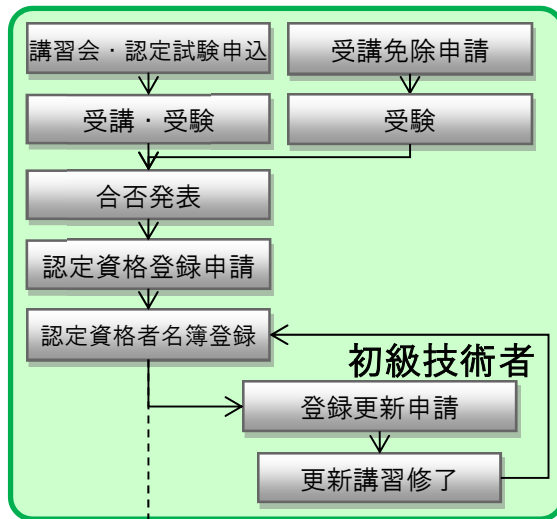
地理情報標準（ISO19100 シリーズ、JIS X 7100 シリーズ及び JPGIS）に関する知識・技能についての講習、及びそれらが一定水準以上であることを試験により認定し、地理情報システムを構築・運用する「技術者」から地理情報システムを利用する「エンドユーザ（利用者）」まで、地理情報システムに関係するすべての人が活用できる資格制度です。

認定資格は、初級技術者、中級技術者、及び上級技術者に区分されています。各区分の認定要件と知識・技能の水準の範囲を下図に示します。



特定の製品やソフトウェアに関するものでなく、地理情報標準の背景として知るべき幅広い知識や基礎となる技能について、総合的に評価します。

## 2. 資格取得フロー



【4月8日～6月7日】測技協 HP より申込  
 受講免除申請対象：過去初級受験者、測技協・全測連有料セミナー・SIDS（初級編、又は中級編）・国交大学校の関連研修受講者

【7月6日】1日講習と試験（講習同日）  
 全国5会場（仙台・東京・名古屋・大阪・福岡）

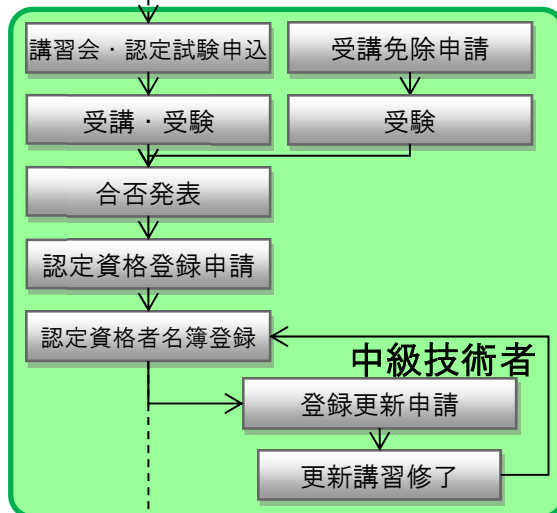
【8月上旬】合否結果通知

登録料を添えて認定資格者名簿登録申請

測技協備付の登録者名簿に記載

5年毎に登録更新料を添えて登録更新申請

インターネット講習修了



【8月13日～9月27日】測技協 HP より申込  
 受講免除申請対象：過去中級受験者、SIDS（中級編）・国交大学の関連研修受講者

【10月24日～10月26日】3日講習と試験（講習最終日同日）全国2会場（東京・大阪）

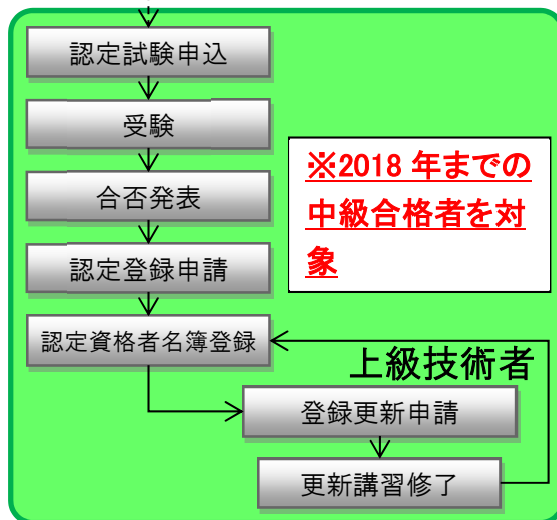
【11月下旬】合否結果通知

登録料を添えて認定資格者名簿登録申請

測技協備付の登録者名簿に記載

5年毎に登録更新料を添えて登録更新申請

インターネット講習修了



【3月1日～4月26日】測技協 HP より申込

【5月26日】試験  
 東京会場

【7月上旬】合否結果通知

登録料を添えて認定資格者名簿登録申請

測技協備付の登録者名簿に記載

5年毎に登録更新料を添えて登録更新申請  
 ※上級の登録更新は2020年より開始

講習修了

## 【講習会・認定試験の申込】

### ■申込要領の確認

地理情報標準認定資格 Web サイトの「申込要領ダウンロード」ボタンから各級の申込要領をダウンロードし、申込要領に従って試験の申込手続きを行ってください。

### ■認定試験申込

地理情報標準認定資格 Web サイトの「認定試験申込み」ボタンからお申し込み手続きに進みます。

([http://www.sokugikyo.or.jp/geographic\\_information/index.html](http://www.sokugikyo.or.jp/geographic_information/index.html))

受講・受験のお申し込みに必要な事項を、申込フォームに入力し、受験者情報の登録を行います。なお、申込フォームの入力中であっても、登録受付の締切り時刻を過ぎると申し込みができませんので、ご注意ください。

登録が完了すると、申込書、申込書記載要領等の資料が添付されたメールが送信されます。申込書記載要領に従って、締切までに申込書を郵送し、受講・受験料等の振込を行ってお申し込みを完了してください。

### 3. 認定試験受験資格及び講習会受講免除

#### 【認定試験受験資格】

認定試験受験資格は、下表の各区分で指定される実務経験年数と資格要件によります。

区分	実務経験年数	資格要件	証明に必要な書類
初級技術者	制限なし	制限なし	制限なし。 ただし、 <u>学生は学生証の写し(カラーコピー)、又は在学証明書</u>
中級技術者	7年*1 (修士、博士含*2)	次の1.2.の要件 双方を満たす者	次の1.2.の書類を <u>両方準備</u> すること
		1. 初級技術者認定試験合格者 2. 測量士(補)、情報処理技術者*3、技術士(補)*4、技術士一次試験合格者*4のいずれか	1. 初級技術者登録証書の写し、又は合格証書の写し 2. 測量士(補)登録証の写し、又は測量士(補)登録証明書の写し*5、若しくは、情報処理技術者試験合格証書の写し、又は技術士一次試験合格証の写し、同二次試験合格証の写し、技術士(補)登録証明書、技術士(補)登録証の写し
上級技術者	10年*1 (修士、博士含*2)	次の1.2.の要件 双方を満たす者	次の1.2.の書類を <u>両方準備</u> すること
		1. 中級技術者認定試験合格者 2. 測量士、情報処理技術者*3、技術士*4、技術士二次試験合格者*4のいずれか	1. 中級技術者登録証書の写し、又は合格証書の写し 2. 測量士登録証の写し、又は測量士登録証明書の写し*5、 若しくは、情報処理技術者試験合格証書の写し、又は技術士二次試験合格証の写し、技術士登録証明書、技術士登録証の写し

\* 初級・中級技術者の受験には、それぞれの講習会を受講いただくことが必要となります。(講習会受講免除の場合を除く)

\* 過去に受講・受験をしたことのある同じ級の受講・受験を申し込む場合は、過去の受講・受験を証明するものの写しをもって、業務経歴書及び証明書等の提出にかえることが可能です。

\*1 指定の様式で地理空間情報に関する業務経歴書の提出によります。

\*2 修士2年、博士3年を上限として算入可能ですが、修了証書等の写しが必要となります。

\*3 IPA 情報処理技術者試験の「基本的知識・技能」に該当するレベル2以上(中級)、レベル4(上級)になります。

\*4 技術部門は問いません。

\*5 測量士及び測量士(補)の試験合格通知、名簿記載事項証明書の写しでも可とします。

### 【講習会受講免除の申請】

下表のとおり指定された講習会のいずれかの受講により、受験資格となっている講習会の受講を免除します。

なお、類似の講習であっても、一定期間が経過し、講習内容が現在の規格に対応していないものについては、同等性の観点から指定講習となっていないこともあることを予めご承知おきください。

区分	指定講習（各区分のいずれかを満たす者）	申請に必要な書類
初級技術者	これまでの初級技術者講習	過年度の受講証明書の写し 又は受講修了証明書*1
	当協会及び全国測量設計業協会連合会の有料の地理情報標準の研修会	修了証等の写し
	日本測量協会地理空間情報専門技術認定*2	合格証の写し
	空間情報デザインスクール (SIDS 初級編・または SIDS 中級編)	修了証の写し
	国土交通大学校の関連研修*2	修了証の写し
中級技術者	これまでの中級技術者講習	過年度の受講証明書の写し 又は受講修了証明書*1
	当協会及び全国測量設計業協会連合会の有料の地理情報標準の研修会	修了証等の写し
	日本測量協会地理空間情報専門技術認定*2	合格証の写し
	空間情報デザインスクール (SIDS 中級編)	修了証の写し
	国土交通大学校の関連研修*2	修了証の写し
上級技術者	なし	なし

\* 指定の様式に当該書類を添付することで、受講免除の申請とみなします。

\* 登録更新についての講習会は受講免除となりません。

\*1 公益財団法人 日本測量調査技術協会が発行する証明書です。

\*2 別表 1 に対象となる研修コースを示します。

修了証等を紛失している場合は、各々の講習実施機関に再発行等を依頼してください。当協会では、原則として書類のご提出が無い場合には受講の確認をすることは出来ません。予めご承知おきください。

**【ご注意】受講証明書の紛失等は十分ご注意ください。**

初級技術者講習および中級技術者講習の受講証明書を紛失等した場合は、有料で受講修了証明書を発行します。詳細は、『5. 認定資格の登録』の【受講証明書・合格証書・登録証書の再発行】を参照してください。

講習免除の対象となるか不明な場合は、認定資格係宛に、件名を【講習免除確認】とし、講習実施機関名、講習会正式名、受講年月日（期間）を記してメールでお問い合わせください。

〈別表1〉 講習会受講免除の対象研修一覧

公益社団法人 日本測量協会 地理空間情報専門技術認定

専攻領域	認定課目（級別）	備考
地理情報	GIS（2級）	認定登録者、又は全科目の合格者
	GIS（1級）	認定登録者、又はⅡコース（3. 標準化、及び4. 製品仕様）の科目合格者

国土交通大学校

年度	研修名
平成17年度	専門課程 地理情報標準研修
平成18年度	専門課程 地理情報標準研修
	専門課程 高等測量研修
平成19年度	専門課程 地理情報標準研修
	専門課程 高等測量研修
平成20年度	専門課程 地理情報標準研修
	専門課程 公共測量企画
	専門課程 高等測量研修
平成21年度	専門課程 地理情報標準研修
	専門課程 公共測量企画
	専門課程 先端測量科学技術（地理空間情報）研修
	専門課程 高等測量研修
平成22年度	専門課程 公共測量研修（全期間コース）
	専門課程 公共測量研修（地理情報標準特化コース）
	専門課程 高等測量研修
平成23年度	専門課程 公共測量研修 A日程（公共測量実務コース）
	専門課程 公共測量研修 C日程（地理情報標準コース）
	専門課程 公共測量研修 D日程（指導・助言コース）
	専門課程 高等測量研修
平成24年度	専門課程 公共測量研修（中級コース）
	専門課程 高等測量研修

平成 25 年度	専門課程	公共測量研修（中級コース）
	専門課程	高等測量研修
	専門課程	GIS 中級
平成 26 年度	専門課程	公共測量研修（中級コース）
	専門課程	高等測量研修
	専門課程	GIS 中級
平成 27 年度	専門課程	公共測量研修（中級コース）
	専門課程	高等測量研修
	専門課程	GIS 中級
平成 28 年度	専門課程	公共測量の設計積算
	専門課程	高等測量研修
	専門課程	GIS 中級（業務への活用支援）
平成 29 年度	専門課程	公共測量の設計積算
	専門課程	高等測量研修
	専門課程	GIS 応用（問題解決能力の向上）
平成 30 年度	専門課程	公共測量の設計積算
	専門課程	高等測量研修
	専門課程	GIS 応用（問題解決能力の向上）

### 【書類審査】

受講・受験資格を確認する書類審査を行います。受講・受験、及び受講免除の要件を満たさない場合は、通知の上、既にお支払いしていただいた受講・受験料を返金します。なお、受講免除の要件のみを満たさない場合は、受講料を追加でお支払いいただくことにより受講・受験が可能となります。

\* 各会場の定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。



#### 4. 講習会カリキュラム及び認定試験の構成

##### 【講習会カリキュラム及び認定試験の構成】

各区分の講習会カリキュラム及び認定試験の構成は下表のとおりです。

初級技術者		
受講・受験者の想定するレベル*1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地理情報標準の基礎を理解している。</li> <li>● 製品仕様書が要求する地理空間データを想定できる。</li> <li>● 地理空間データの品質の考え方を理解している。</li> <li>● メタデータの意義を理解し、作成できる。</li> <li>● 単純な構造の地理空間データ製品仕様書を理解できる。</li> </ul>	
講習日	2019年7月6日(土)	
講習会カリキュラム*1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1日・4時間+試験</li> <li>● 地理情報標準の概要、作成すべきデータ(応用スキーマ)、品質の考え方及び評価方法、メタデータ及びその作成方法、製品仕様書</li> </ul>	
試験日	2019年7月6日(土) ※講習会同日	
試験科目 【基礎】	試験形式	多肢択一式問題・30問出題
	試験内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地理情報標準の基礎に関する知識</li> <li>● 作成すべきデータに関する知識</li> <li>● 品質評価に関する知識</li> <li>● メタデータに関する知識</li> <li>● 製品仕様書に関する知識</li> </ul>
	試験時間	16時00分～17時00分(60分)

\*1 地理情報標準を初めて勉強しようとする方も対象としていますが、受講に際しては、〈別表2〉”参考図書”に掲げた中から適宜選び、ある程度の予習をされることを推奨します。

中級技術者		
受講・受験者の想定するレベル*2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地理情報標準の内容をよく理解している。</li> <li>● 複雑な構造の地理空間データを設計できる。</li> <li>● 複雑な構造の製品仕様書を作成できる。</li> <li>● 製品仕様書が要求する地理空間データを作成できる。</li> <li>● 与えられた論議領域を基に正しい製品仕様書を書くことができる。</li> <li>● 符号化規則(GML)に従って地理空間データを記述できる。</li> </ul>	
講習日	2019年10月24日(木)～2019年10月26日(土)	
講習会カリキュラム*2 【3日間】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1日目・8時間程度</li> <li>● ガイダンス、一般地物モデルと応用スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ、UMLクラス図演習・応用スキーマ演習</li> </ul>	
	● 2日目・8時間程度	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● UML クラス図演習・応用スキーマ演習、品質要求、被覆、地理識別子、製品仕様書、XML</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3 日目・3 時間＋試験</li> <li>● GML</li> </ul>	
試験日	2019 年 10 月 26 日(土) ※講習会最終日同日	
試験科目 【応用 1】	試験形式	多肢択一式問題・20 問出題
	試験内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般地物モデルと応用スキーマ</li> <li>● 空間スキーマ</li> <li>● 時間スキーマ</li> <li>● 品質要求</li> <li>● 被覆</li> <li>● 地理識別子</li> <li>● XML</li> <li>● GML</li> </ul>
試験科目 【応用 2】	試験形式	記述式（記述及び作図）問題・3 問出題
	試験内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品仕様書</li> </ul>
試験時間	14 時 00 分～16 時 00 分（120 分）*3	
採点方法	<p>【応用 1】と【応用 2】が、共に試験合格基準以上の成績を得ていることで合格とします。</p> <p>【応用 1】で資格認定委員会が定める試験合格基準以上の成績を得ていることで、【応用 2】の採点対象となります。</p> <p>【応用 2】の試験合格基準は、与えられた論議領域を基に正しい「製品仕様書」を書くことができる能力があることです。</p>	

\*2 各科目についての基本的な知識を受講者が有していることを前提に講習を行います。知識習得に際しては〈別表 2〉”参考図書”から適宜選んで参照してください。

\*3 試験は、【応用 1】と【応用 2】を併せて実施し、合計で 120 分とします。

上級技術者		
受験者の想定するレベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地理情報標準に準拠して、データの取得・管理・交換・応用に関する課題を発見し、それらを分析・解決できる。</li> <li>● 地理情報標準に準拠して、データ・システムの最適な組合せを選択し、高度なサービスを構築できる。</li> <li>● 地理情報標準に準拠して、構築したサービスを安定的に管理し、運用できる。</li> </ul>	
試験日	2019年5月26日(日)	
試験科目 【高度実践】	試験形式	論述式(小論文)問題・3問出題・内2問解答 600字詰原稿用紙6枚
	試験内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地理情報標準に準拠したデータの取得・管理・交換・応用に関する課題発見・分析・解決についての実務経験に関する論述</li> <li>● 指定された条件で、地理情報標準に準拠したデータ・システムの最適組合せによる高度なサービスの構築に関する論述</li> <li>● 指定された条件で、地理情報標準に準拠した構築したサービスの安定的な管理・運用に関する論述</li> </ul>
	試験時間	13時30分～16時30分(180分)

**【受講・受験に際して配慮を希望する方】**

何らかの事情で受講・受験席の要望がある場合は、予め認定資格係までご相談ください。

## 5. 認定資格の登録

### 【資格登録】

資格認定委員会が定める試験合格基準以上の成績を得て、認定審査に合格した受験者に合格証書を交付します。認定試験の合格のみでは認定技術者資格は付与されません。登録の申込みは試験実施年度の5年後の年度末日まで行うことが可能です。

### 【認定資格登録証書】

合格し合格証書を受領された受験者は、地理情報標準認定資格者名簿への登録申請を行うことができます。これによって、地理情報標準認定資格（初級技術者、中級技術者、上級技術者）は正式に付与され、登録証書が発行されます。

### 【認定資格者名簿の公表】

地理情報標準認定資格者名簿のうち、登録証書に記載される登録者の氏名、登録区分（級）、登録番号、登録年月日、有効期限の各項目は、情報公開の対象となります。

### 【受講証明書・合格証書・登録証書の再発行】

受講証明書、合格証書、登録証書の再発行は行いません。

- ・ 受講証明書：有料で受講修了証明書を発行いたします。
- ・ 合格証書：有料で合格証明書を発行いたします。
- ・ 登録証書：有料で登録証明書を発行いたします。

受講証明書・合格証書・登録証書を紛失等した場合は、有料で各証明書の発行をします。詳細は、認定資格係宛に、件名を【〇〇証明書発行依頼】とし、メールでお問い合わせをお願いします。

## 6. 講習会受講料・認定試験受験料・認定資格登録料

### 【講習会受講料・認定試験受験料・認定資格登録料】

各区分の講習会受講料・認定試験受験料、及び認定資格登録料は下表のとおりです。

講習会受講免除の場合以外は、原則として講習と試験の両方を受けていただきます。

区分	講習会受講料	認定試験受験料
初級技術者	16,200 円	7,560 円
	再受講者 12,960 円	
	学生 1,080 円	学生 5,400 円
中級技術者	54,000 円	10,800 円
	再受講者 43,200 円	
上級技術者	なし	32,400 円
区分	登録料	
全級共通	5,400 円	

\* 消費税込です。

\* 受講・受験者本人の都合によりキャンセルされた場合の受講・受験料は、原則として返金しません。

\* 納入いただいた受講・受験料の次回以降の受講・受験への振替、及び他者分への充当は原則として認めません。

\* 再受講者割引は、過去の受講を証明できるものの写しが必要です。

\* 学生割引は、学生証又は在学証明書のコピーが必要です。

\* 学生割引は、定員になり次第、締めきりとさせていただきます。

\* 講習会受講料は、テキスト代を含みます。

\* 上記は、消費税の料率変更に伴い、変更する可能性があります。

### 【再受講者割引の対象と適用】

過去に受講したことのある同じ級の講習会を受講する方は、講習会受講料について再受講者割引の対象となります。過去の受講を証明できるものの写し（受講証明書等）を添付してください。

### 【学生割引（学割）の対象と適用】

小学校・中学校・高校・高等専門学校・専修（専門）学校・短期大学・大学・大学院・各種学校等の学校に在学中の方は、学生割引の対象となります。

学生割引（学割）を適用する場合は、必ず学生証の写し（カラーコピー）、又は在学証明書を添付してください。添付が無い場合は、適用することができません。

\* 学生割引は、定員になり次第、締めきりとさせていただきます。

### 【受講料および受験料の納入例】

初級講習・試験の場合

- ・ 受講・受験者 : 16,200 円+7,560 円= 23,760 円 (税込)
- ・ 再受講・受験者割引適用 : 12,960 円+7,560 円= 20,520 円 (税込)
- ・ 受講・受験者 (学生割引) : 1,080 円+5,400 円= 6,480 円 (税込)
- ・ 受講免除対象者 : 7,560 円 (税込)
- ・ 受講免除対象者 (学生割引) : 5,400 円 (税込)

### 【振込先】

銀行・支店・口座番号 : みずほ銀行 高田馬場支店 普通 2865889

口座名カナ : ザイ) ニホンソクリヨウチヨウサギジュツキヨウカイ コウシユウ シケングチ

口座名漢字 : 公益財団法人日本測量調査技術協会 講習・試験口

- \* 在職する企業等からの一括納入やネットバンキングでの納入の場合は、事前に認定資格係へご連絡ください。
- \* 振込手数料は、振込者負担とします。
- \* 上記は、消費税の料率変更に伴い、変更する可能性があります。

## 7. 認定資格の登録更新

### 【更新講習】

認定資格登録後の資質向上のため、5年毎に下表の更新講習の受講により資格継続とします。

区分	講習方法
初級技術者	インターネット講習（約20問＋解説付き）
中級技術者	インターネット講習（約20問＋解説付き）
上級技術者	未定 <sup>※</sup>

※上級の登録更新は2020年より実施

### 【登録更新料】

登録更新料は下表のとおりです。

区分	登録更新料
全級共通	8,640円

- \* 消費税込です。
- \* 登録更新料には、更新講習の受講料を含みます。
- \* 登録更新の申込みおよび登録更新料の納入をもって更新講習の受講が可能となります。
- \* 本人の都合によりキャンセルされた場合の登録更新料は、原則として返金しません。
- \* 納入いただいた登録更新料の次回以降への振替、及び他者分への充当は原則として認めません。
- \* 上記は、消費税の料率変更に伴い、変更する可能性があります。

「登録更新についてのご案内」は下記URLを参照してください。

<http://sokugikyo.or.jp/pdf/siryuu/koushinkousyuu.pdf>

## 8. 測量 CPD と設計 CPD

CPD とは、継続的な能力開発 (Continuing Professional Development) のことで、技術者が、自己の資質の技術の向上に努め、常に技術者としての誇りと品格を保ち、社会に貢献するために、自己研鑽 (継続的学習) を通じて必要な技術力と資質の向上を図ることを目的としています。

初級技術者講習、中級技術者講習、登録更新講習、及び地理情報標準認定試験合格者による地理情報標準認定資格者名簿への登録により、測量 CPD、または設計 CPD ポイントの証明書を発行します。

### 1. 講習会

①対象：測量 CPD ・ 設計 CPD

②ポイント数

名称	測量 CPD	設計 CPD
初級	4	4
中級	16	16

③注意事項：講習を遅刻、途中退出等した場合は、ポイント数が減ることや発行をしない場合があります。

### 2. 認定資格登録

①対象：測量 CPD

②ポイント数

名称	測量 CPD
初級	2
中級	4
上級	6

③注意事項：資格登録者に対して発行します。合格のみでは発行ができません。

### 3. 登録更新講習

①対象：測量 CPD ・ 設計 CPD

②ポイント数

名称	測量 CPD	設計 CPD
初級	2	2
中級	3	3
上級	未定	未定



詳細は「測技協の継続教育（CPD）について」をご確認ください。

<http://archive.sokugikyo.or.jp/pdf/cpd1509.pdf>

具体的な CPD 参加・認定ポイント登録、学習履歴証明等の各種手続きは各 CPD 協議会へお願いいたします。

測量系 CPD 協議会ホームページ <https://www.jsurvey-cpd.jp/>

設計 CPD（全国測量設計業協会連合会）ホームページ <http://www.zensokuren.or.jp/cpd/>

## 9. 詳細についての問い合わせ先

公益財団法人 日本測量調査技術協会 認定資格係

住所：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-40-11 看山ビル 9 階

電話：03-3362-6840

FAX：03-3362-6841

URL：[http://www.sokugikyo.or.jp/geographic\\_information/index.html](http://www.sokugikyo.or.jp/geographic_information/index.html)

電子メール：[s-gi-cert@sokugikyo.or.jp](mailto:s-gi-cert@sokugikyo.or.jp)

申込書・確認書類等の証明書類については返却いたしません。また、いただいた個人情報は、本認定資格制度の運営を目的として利用し、当該情報は、当協会の個人情報保護方針に基づき厳重に管理します。

プライバシーポリシー [http://www.sokugikyo.or.jp/privacy\\_policy.html](http://www.sokugikyo.or.jp/privacy_policy.html)

以上

**本案内は予告であり、修正される場合があります。予めご了承ください。**

## 10. 参考図書・Web サイト

〈別表2〉

### 参考図書・Web サイト

図書名、又は Web サイト	著者・編者等	発行元	発行年	備考	対象 クラス
平成 29 年 地理情報標準認定資格制度初級技術者講習テキスト	(公財)日本測量調査技術協会 講習・試験委員会 編	(公財)日本測量調査技術協会	2017		初級
JPGIS 入門 - JPGIS 2014 対応 -	(公財)日本測量調査技術協会 GIS センター	(公財)日本測量調査技術協会	2016		初級・ 中級
読んでナットク JSGI	地理情報標準普及利用推進委員会・国土地理院監修 (国土地理院技術資料 E1-No.294)	(公財)日本測量調査技術協会	2004		初級
地理情報標準第 2 版 (JSGI2.0) の入門	(公財)日本測量調査技術協会 (国土地理院技術資料 A1-No.261)	(公財)日本測量調査技術協会	2002		初級
GIS の理論	村山祐司、柴崎亮介	朝倉書店	2008		初級
GIS のためのモデリング入門 地理空間データの設計と応用	有川正俊・太田守重	ソフトバンククリエイティブ	2007		初級・ 中級

図書名、又は Web サイト	著者・編者等	発行元	発行年	備考	対象 クラス
地理情報標準プロファイル Japan Profile for Geographic Information Standards (JPGIS) 2014 <a href="http://www.gsi.go.jp/common/000091216.pdf">http://www.gsi.go.jp/common/000091216.pdf</a>	国土交通省 国土地理院	国土交 通省 国土 地理 院	2014		中級
地理情報に関する国際標準 の概要「Standards Guide ISO/TC 211 Geographic information/Geomatics」仮訳 <a href="http://www.gsi.go.jp/common/000077857.pdf">http://www.gsi.go.jp/common/000077857.pdf</a>	国土交通省 国土地理院 (国土地理院 技術資料 A1-No.357)	国土交 通省 国土 地理 院	2010		中級
地理空間情報の基本と活用	橋本雄一 編	古今 書院	2009		中級
GIS 原典 1 地理情報システムの の原理と応用	マギーほか 編・碓井照子 ほか訳	古今 書院	1998		中級
地理空間データ製品仕様書 作成マニュアル <a href="http://www.gsi.go.jp/common/000091220.pdf">http://www.gsi.go.jp/common/000091220.pdf</a>	国土交通省 国土地理院		2014		中級・ 上級
JIS 規格サイト <a href="http://www.jisc.go.jp/">http://www.jisc.go.jp/</a>	JISC (日本工 業標準調査 会)		2014		中級・ 上級
地理情報規格 ISO/TC211・ JIS (地理情報規格に関する作業 項目を紹介) <a href="http://www.sokugikyo.or.jp/isojis/index.html">http://www.sokugikyo.or.jp/isojis/index.html</a>	(公財)日本 測量調査技 術協会		2014		中級・ 上級

図書名、又は Web サイト	著者・編者等	発行元	発行年	備 考	対象 クラス
地理空間情報技術 (GIT) の 学習支援ソフトウェア gittok <a href="http://stinfodesign.net/gittok/">http://stinfodesign.net/gittok/</a> (必ずしも地理情報標準に準拠 するものではないが、地理情報規 格の体系やその役割の理解も可 能とするソフトウェア。 )	太田守重		2014	『国土地理院 電子国土賞 (PC 部門)』 受賞、『GIS 学 会賞 (ソフト ウェア・デー タ部門)』受賞	初級 中級・ 上級

\*参考図書の詳細は、発行元へ直接お問い合わせください。